

愛媛県におけるアカオビアザミウマの初記録

吉富博之¹

¹ 愛媛大学ミュージアム

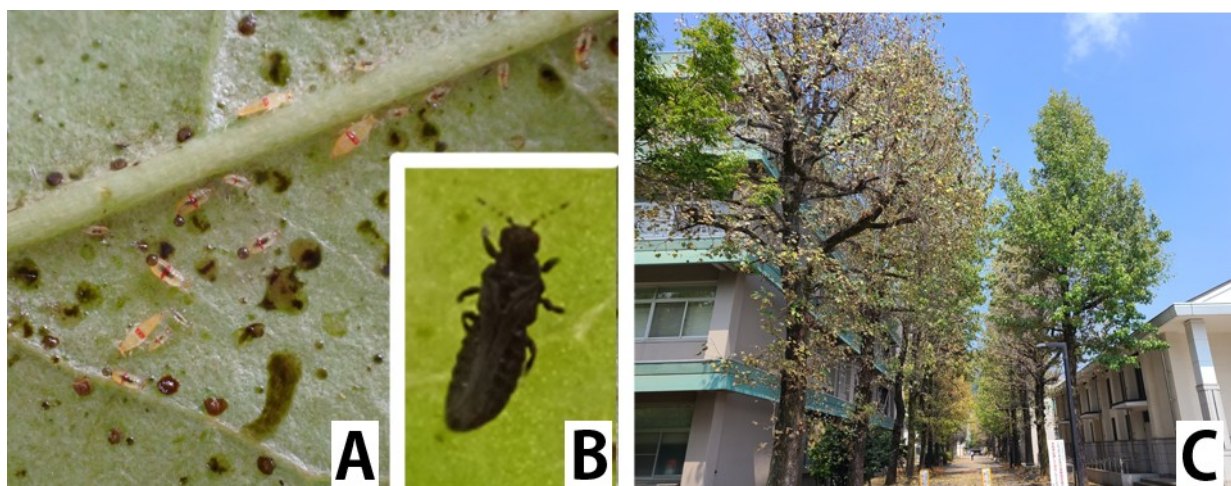


写真1 *Selenothrips rubrocinctus* アカオビアザミウマ (A : 幼虫, B : 成虫, C : 被害状況)

種の記録

Thripidae アザミウマ科

Selenothrips rubrocinctus (Giard, 1901)

アカオビアザミウマ (写真 1A, B)

標本 採集年月日: 2026 年 8 月 10 日, 採集場所: 愛媛県松山市文京町 愛媛大学城北キャンパス (33.85 0455N, 132.772883E), 個体数: 多数 (うち 20 個体を採集), 採集者: 吉富博之, 標本保管: 愛媛大学ミュージアム。

種の特徴

成虫の体長は約 1mm. 全身が黒褐色で他のアザミウマと比較し横幅がある (写真 1B). 幼虫は黄色で, 腹部 1-2 節と末端が鮮やかな赤色となる (写真 1A). 岡島・榎本 (2022) の記述や図から本種と同定した。

備考

本種は中南米原産で, 世界各地の熱帯～亜熱帯地域に侵入している。国内では南西諸島や小笠原諸島などから記録されてきたが, 近年では関東以西の地域での発生が報告されている。岡島・榎本 (2022) には四国の分布について書かれていないが, 四国ではこれまでに高知県 (高知県病害虫防除所, 2008; 高知新聞, 2024) での記録があり, 愛媛県では本報告が初記録となる。植栽されているモミジバフウ *Liquidambar styraciflua* の葉裏に大発生し葉にダメージを与

え, 夏季に落葉させる被害が確認された (写真 1C). なお, 2025 年にも同地では夏季に同様の落葉が確認され, おそらくアカオビアザミウマの被害だと考えられる。本種はモミジバフウだけでなく他の緑化樹木やアボカド *Persea americana* やグアバ *Psidium guajava* などの農作物にも被害を与えるため (高知県病害虫防除所, 2008), 今後の動向に注意が必要である。

引用文献

- 高知県病害虫防除所. 2008. 平成 20 年度病害虫発生予察 特殊報第 2 号 (病害虫防除所ホームページ: <https://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/download/?t=LD&id=5692&fid=26407>, 2026 年 9 月 1 日参照).
- 高知新聞. 2024. 一足先に冬が来た? 土佐道路の街路樹 葉枯れの原因「アカオビアザミウマ」. (2024 年 10 月 25 日付け記事).
- 岡島秀治・榎本雅身. 2022. 日本原色アザミウマ図鑑. 全国農村教育協会. 624 pp.

(2026 年 9 月 4 日受付, 2026 年 9 月 8 日公開)

連絡先: 吉富博之 (e-mail: maruhananomi2@gmail.com)
(Hiroyuki Yoshitomi. 2026. A new record of *Selenothrips rubrocinctus* (Thripidae) from Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 26022)